

2011年2月7日

真夏のブラジルを旅行して

1. 概要

- ・期間 : 2010年12月21日~2011年1月7日(18日間)
- ・ルート: 成田→フランクフルト→マドリード→サンパウロ→マドリード→ロンドン→成田
- ・訪問地: サンパウロ~サルバドル~リオデジャネイロ~アラサツバ(弓場農場)~イグアス
~サンパウロ

2. Brazil at a glance

- ・人口 : 日本の約23倍の国土に、約191.5百万人(2009年)
- ・GDP : 3,003.6 R\$ billion, 一人当たり約9千米ドル超(同上)
- ・失業率: 8.2%(同上)
- ・政体 : 政治的に安定した民主主義国家。本年1月1日に女性ジルマ大統領が就任。
- ・資源 : 鉄鉱石、石油、バイオエタノール等天然資源に恵まれる。 等

3. トピックス

1) サンパウロ市

- ・ブラジル最大の都市
標高800メートル、人口1,600万人、経済・商業の中心地、南東にサントス港。
- ・日本人移民社会
笠戸丸、移民100周年(2008年)、日系人(約130万人)と日系社会、リベルダーヂ地区。
- ・輸送手段
自動車: 60回月賦、フレックス・カー(ガソリン+エタノール)、路上に溢れ、道路は増えず..
バス: 長距離移動、庶民の足、クリスマス時期の大移動。
航空機: 航空産業大変化(VARIG はなく、TAM、GOL が主、JAL 直行便廃止)、空港大混雑。

2) サルバドル市

- ・東北伯(Nordeste)バイア州
ブラジルが西暦1500年に「発見」された所。ブラジルの最初の首都であり、現在の州都。
- ・エレベーター
山の手と下町をつなぐ、市のシンボル。
- ・旧市街
16世紀時代の家屋と石畳の続く街並み、世界文化遺産、カラフル、奴隷さらし場。
- ・ボンフィン教会
民間信仰(病気の部位を蠟細工で寄進)、願いごとテープ(ミサンガ)。
- ・バイアの食べ物・飲み物
ムケッカ、アカラジェ、カイピリーニャ。

3) リオデジャネイロ

・観光都市

ブラジル2番目の首都、世界3大美港の一、コパカバーナ/イパネマ海岸、花火、カーニバル

・ファベラ

スラム街、土地不法占拠、トウ電、麻薬の温床、マフィア掃討作戦（昨年11月、40人死亡）

・ポルトガル料理

バカリャウ(干鱈を水で戻し、塩抜きして茹でるか焼く、玉ねぎ・ピーマン等を和える)

・ニテロイ市

グアナバラ湾を挟んだ対岸の都市、RJのベッドタウン、O.ニーマイヤー設計の現代美術館。

・洪水

今年1月初旬から大雨が続き、リオ北郊の州宅地で洪水・土砂崩れ、多数死亡。

4) 弓場農場

・「アリアンサ移住地」

サンパウロ市西方600Km、開設86周年、第1、第2、第3アリアンサ。集会場、墓地。

・「コミュニダージ・ユバ」

日本人(弓場 勇)が開拓した移住地、開設75週年、現在70名弱が在住。

・ブラジル版「新しき村」

”耕す、祈る、芸術する“(弓場 勇)、舞踊、器楽、合唱、合奏、創作ミュージカル。

・ユバ・バレエ団

50年の歴史、日本公演も行った。

・自給自足(コミュニティー)

ゴイヤバ、オクラ、シイタケ等の商品作物、牛・豚・やぎ、うどん、パスタ、石鹼。

・年末2回の発表会・イベント

クリスマスイブと12月30日、近郊近在から各400名来場、大晦日は「紅白歌合戦」。

・その他

コーヒー焙煎、豚の丸焼き、初日の出、新年のつどい、ガラガラヘビ

5) イグアスの滝

・世界自然遺産

ブラジル、パラグアイ、アルゼンチンの国境にまたがる滝、世界三大瀑布の一。

・ブラジル側

国立公園内の「Hotel das Cataratas」、人を恐れない動物たち、「悪魔ののど笛」。

・アルゼンチン側

トロッコ列車、至近距離からの滝見物、大雨で何度も橋が流された、ボートツアー。

以上